

1対象者決定 2自然科学部門 3人文科学部門 4学術委員 5財団について

1

平成 30 年度 三島海雲記念財団 研究助成対象者決定

—自然・人文科学の独創的で優れた研究59件に—

公益財団法人 三島海雲記念財団(理事長 今関 博)は、平成 30 年度 学術研究助成対象者を決定しましたので、お知らせいたします。今回の助成対象件数は、自然科学系41件、人文科学系18件の計59件、総額7,060万円が贈呈されます。



平成 29 年度 贈呈式



学術委員長(自然科学) 上野川 修一
東京大学名誉教授

- ◆ 当財団は、カルピス社創業者 三島海雲が昭和 37 年(1962 年)に創設し、今回を含め 56 回、延べ 1,861 件、13 億 6,247 万円の学術研究助成を行っています。
- ◆ 平成 30 年度 学術研究助成は、国内外の大学や研究機関等に所属する研究者から390件の応募があり、各分野を代表する当財団の学術委員によって59件が選考されました。
- ◆ 助成対象者には、7 月 6 日(金)に東京都内で開催される贈呈式において一人一人に助成金の贈呈書が手渡されます。(なお、平成 30 年度 三島海雲学術賞の贈呈式と受賞講演会も併せて実施いたします。)

<本件に関するお問合せ先>

公益財団法人 三島海雲記念財団 山田 誠・唐木田 陽一

〒150-0012 東京都渋谷区広尾 1-6-10 グラッファビル

Tel:03(5422)9898 Fax:03(5422)9733

URL:<http://www.mishima-kaiun.or.jp>

1対象者決定 2自然科学部門 3人文科学部門 4学術委員 5財団について

2-1

平成30年度 研究助成対象者ならびに研究題目

－自然科学部門 41件－

【個人研究】

No	研究課題	氏名	所属	役職
1	活性イオウ含有食品による酸化ストレス関連疾患予防	いしま ゆう 異島 優	徳島大学大学院 医歯薬学研究所	准教授
2	必須脂肪酸欠乏時に産生される脂肪酸の疾患への関与とその制御機構の解明	いち いくよ 市 育代	お茶の水女子大学 基幹研究院自然科学系	講師
3	マウス肝臓オルガノイド培養を用いたNASH病態の解明	うすい たつや 臼井 達哉	東京農工大学農学部 共同獣医学科	特任 講師
4	魚介類に豊富なオスモライト類による膵β 細胞の機能向上と2型糖尿病予防	かたおか こうすけ 片岡 浩介	横浜市立大学 生命医科学研究科	准教授
5	苦味成分による脂肪細胞機能調節の解析	かとう えいすけ 加藤 英介	北海道大学大学院 農学研究院	講師
6	運動によるビタミンAの代謝調節がエネルギー代謝に与える影響	きたかぜ ともや 北風 智也	神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科	学術 研究員
7	有明海干潟での安全・美味なアサリの大量養殖	きたがわ のぼる 北川 昇	熊本県立大学環境共生学部	博士 課程
8	マウス母乳中に含まれる腸内細菌特異的IgG3抗体の産生における腸管上皮の役割	きむら しゅんすけ 木村 俊介	北海道大学大学院 医学研究院	助教
9	ヒト生理作用によるおいしさ評価に向けた食刺激と唾液反射の関係解明	くさかべ ゆうこ 日下部 裕子	農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門 食品健康機能研究領域	ユニット長
10	肥満を有する2型糖尿病患者へのBCAA・オメガ3系脂肪酸付加食の食事療法が体組成及び糖代謝へ及ぼす影響	くぼた なおと 窪田 直人	東京大学医学部附属病院 病態栄養治療部	部長/ 准教授
11	アミノ酸シグナルに着目したサルコペニア予防食開発のための分子基盤形成	こばやかわ みき 小早川 美輝	九州歯科大学 口腔再建リハビリテーション学分野	博士 課程
12	食品成分修飾タンパク質を認識する自然抗体遺伝子配列の網羅的解析	ささき えいた 佐々木 栄太	東京大学大学院 農学生命科学研究科	助教
13	腸内細菌との共生に必須の腸上皮組織維持機構の解明	さとう たく 佐藤 卓	東京医科歯科大学 難治疾患研究所	講師
14	細菌性食中毒における痛みの発生と毒素との関係性について	しながわ としえ 品川 敏恵	理化学研究所 眞貝細胞記憶研究室	専任 研究員
15	授乳期からの継続的な食品ポリフェノール摂取がもたらす脳機能発達を中心としたプラス効果の検討	しまだ こうすけ 嶋田 耕育	神奈川県立産業技術総合研究所 食品機能性評価グループ	研究員
16	カテキンが老化網膜の視覚機能に与える影響の解析	すぎた ゆうこ 杉田 祐子	大阪大学蛋白質研究所 分子発生学研究室	助教
17	乳酸菌が生産する抗菌ペプチドの探索と構造・機能の解析	ぜんどう たけし 善藤 威史	九州大学大学院 農学研究院	助教
18	必須微量元素セレンの代謝臓器としての腸内細菌叢の機能解明	たかはし かずあき 高橋 一聡	千葉大学大学院 医学薬学府	博士 課程
19	シロアリ王の活動的長寿を支えるロイヤルフードの特定と機能解析	たさき えいすけ 田崎 英祐	京都大学大学院 農学研究科	特定 研究員
20	生理活性ペプチド・カルノシンを用いた慢性閉塞性肺疾患の予防法の確立	たなか けんいちろう 田中 健一郎	武蔵野大学薬学部	講師
21	小胞体ストレス応答機構が筋線維特性の制御に及ぼす影響解明	とくたけ ゆかこ 徳武 優佳子	信州大学大学院 総合工学系研究科	博士 課程

プレスリリース

平成30年6月11日
公益財団法人 三島海雲記念財団

1対象者決定 2自然科学部門 3人文科学部門 4学術委員 5財団について

2 - 2

平成30年度 研究助成対象者ならびに研究題目

No	研究課題	氏名	所属	役職
22	味覚情報処理におけるカチオンチャネルの役割解明	とよだ ひろき 豊田 博紀	大阪大学大学院 歯学研究所	准教授
23	細菌性肺炎制御に向けた、コメ由来ペプチドの探索および機能解析	ながい こうすけ 永井 康介	新潟大学大学院 医歯学総合研究科	博士 課程
24	皮膚での苦味受容体を起点とした新奇生体防御機構の解明とその応用	なかむら もとなお 中村 元直	岡山理科大学大学院 理学研究科	教授
25	ヒト腸内細菌に対する新規ショ糖アナログ2糖の増殖効果と分解酵素に関する研究	にしお としゆき 西尾 俊幸	日本大学生物資源科学部 生命化学科	教授
26	次世代機能性糖質素材の開拓およびバイオプロセス技術の開発	にへい たかのり 仁平 高則	新潟大学農学部	特任 助教
27	内在性熱活性型レトロトランスポゾンの育種への応用	のざわ こうすけ 野沢 紘佑	北海道大学大学院 生命科学院	博士 課程
28	食品中成分であるビタミンDによる脳神経細胞の分化誘導機構の解析	ひろた よしひさ 廣田 佳久	芝浦工業大学 システム理工学部生命科学科	助教 (独立)
29	ミニエマルションを用いたナノスケール加工技術の開発	ふくい ゆうか 福井 有香	慶應義塾大学理工学部 応用化学科	専任 講師
30	カプサイシン受容体のプロスタノイドシグナル抑制による大腸がん予防機構の解明	ふくしま けいじょう 福島 圭穂	徳島大学大学院 医歯薬学研究所	助教
31	新たな脂肪肝制御因子CRTC1活性化による非アルコール依存性脂肪肝の治療	まつむら しげのぶ 松村 成暢	京都大学大学院 農学研究科	助教
32	長鎖脂肪酸による気管支喘息誘発機序の解明	みずた けんたろう 水田 健太郎	東北大学大学院 歯学研究所	准教授
33	食品成分による抗老化アディポカインNAMPTの分泌促進メカニズムの解明	みにに たかかず 三谷 壘一	信州大学先鋭領域融合研究群 バイオメディカル研究所	助教
34	食への意欲に関わる脳領域の同定と機能解析	みやさか のぶひこ 宮坂 信彦	理化学研究所 脳科学総合研究センター	副チーム リーダー
35	高活性プレニルフラボノイドの臓器蓄積特性の解明	むかい りえ 向井 理恵	徳島大学大学院 社会産業理工学研究部	准教授
36	オメガ3脂肪酸の構造特異性に着目した喘息病態への抗炎症作用の解明	もちまる たかお 持丸 貴生	慶應義塾大学医学部 呼吸器内科	助教
37	乳酸菌が産生する希少脂肪酸の代謝経路の解明と神経細胞活性化作用の解析	もりと かつや 森戸 克弥	徳島大学大学院 薬科学教育部	博士 課程
38	食品汚染微生物に対する昆虫味覚	やながわ あや 柳川 綾	京都大学生存圏研究所 生存圏開発創生研究系	助教
39	食品添加物による自然リンパ球を介した経口免疫寛容の獲得阻害作用に関する研究	やました ひろたか 山下 弘高	岐阜薬科大学 薬理学研究室	講師

【共同研究】

No	研究課題	代表 研究者	所属	役職
1	新たに発見した視床下部小タンパク質による過食・肥満誘導機構の解明	うけな かずよし 浮穴 和義	広島大学大学院 総合科学研究科	教授
2	アジアにおける食と腸内細菌叢と生活習慣病に関する調査研究	なかやま じろう 中山 二郎	九州大学大学院 農学研究科	准教授

1 対象者決定 2自然科学部門 3人文科学部門 4学術委員 5財団について

3

平成 30 年度 研究助成対象者ならびに研究題目

－人文科学部門 18件－

【個人研究】

No	研究課題	氏名	所属	役職
1	モンゴル語訳『菩提道次第広論』の基礎的研究	ありるでー ぼるまー ARILDII BURMAA	大谷大学大学院 文学研究科	博士 課程
2	チベット語文献「仏教史書」(chos 'byung)に関する研究	いうち まほ 井内 真帆	神戸市外国語大学 外国学研究所	客員 研究員
3	カンボジア山地民クルンのオノマトベと環境感受の民族誌的研究	いのうえ こう 井上 航	国立民族学博物館	外来 研究員
4	法界仏像にみられる世界図に関する研究—西域北道・中国内地の作例を中心に—	えき たんいん 易 丹韻	早稲田大学大学院 文学研究科	博士 課程
5	中華民国期上海租界における国籍と領事庇護権の研究——会審公廨を中心に	かく まいか 郭 まいか	京都大学大学院 文学研究科	博士 課程
6	ヒマラヤオオミツバチをめぐる人類学的考察—ネパールグルン族の採蜜活動の変容に着目して	ごうはら おりべ 合原 織部	京都大学大学院 人間・環境学研究所	博士 課程
7	現代カンボジアの言論空間：民主カンプチア体制成立までの知識人の活動に焦点を当てて	しんたに はるの 新谷 春乃	東京大学大学院 総合文化研究科	博士 課程
8	帝国日本と近代東アジアの銅像—台湾・朝鮮・満州の例と歴史遺産としての現況比較	すずき えか 鈴木 恵可	東京大学大学院 総合文化研究科	博士 課程
9	古代インドにおけるアディヤートマ哲学の再建に向けて	たかはし けんじ 高橋 健二	京都大学大学院 文学研究科	博士 課程
10	遊牧帝国の残照—新疆ホボクサイル・モンゴル自治県のオイラド・モンゴルの歴史記憶に着目して—	ちやす ちやがん 査斯 査干	総合研究大学院大学 文化科学研究科	博士 課程
11	清末中華民国期のオルドス(イフジョー盟)におけるキリスト教宣教師たちの布教活動と現地に与えた影響	はす ごわ ハス 高娃	神戸大学大学院 国際文化学研究所	博士 課程
12	西夏がモンゴル帝国以降の中央ユーラシア地域におけるチベット仏教信仰に与えた影響の解明	はまなか さや 浜中 沙椰	早稲田大学大学院 教育学研究科	博士 課程
13	17世紀ハルハ=モンゴルの王位継承と内陸アジア世界	まえの りえ 前野 利衣	東京大学大学院 総合文化研究科	博士 課程
14	13-14世紀ヒッラのシーア派学者集団と対スンナ派関係：イマームの美德の書編纂活動の研究	みずかみ りょう 水 上 遼	東京大学大学院 人文社会系研究科	博士 課程
15	日本占領下の上海文壇再考	やまぐち きなえ 山口 早苗	東京大学大学院 総合文化研究科	博士 課程
16	18～19世紀におけるベトナム北部山地の社会変容と在地首長の生存戦略	よしかわ かずき 吉川 和希	大阪大学大学院 文学研究科	博士 課程
17	陳元賛『老子経通考』に見える林希逸『老子虞齋口義』批判	り れい 李 麗	名古屋大学大学院 人文学研究科	博士 課程

【共同研究】

No	研究課題	代表研究者	所属	役職
1	東南アジアに残る樹皮紙古文書類の保全と活用を促進するデータベースを立ち上げる	びーたー ましうず Peter MATTHEWS	国立民族学博物館 超域フィールド科学研究部	教授

1 対象者決定 2自然科学部門 3人文科学部門 **4学術委員** 5財団について

4

学術委員

【自然科学部門】

委員長 上野川 修一	東京大学名誉教授
阿部 啓子	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授／東京大学名誉教授
伊藤 喜久治	元東京大学教授
清水 誠	東京農業大学応用生物科学部教授／東京大学名誉教授
谷口 直之	大阪国際がんセンター研究所部長 /大阪大学名誉教授
難波 成任	東京大学大学院農学生命科学研究科特任教授／東京大学総長特任補佐
伏木 亨	龍谷大学農学部教授・食の嗜好研究センター長／京都大学名誉教授
和田 俊	東京海洋大学名誉教授
山本 直之	東京工業大学生命理工学院教授

【人文科学部門】

委員長 羽田 正	東京大学理事・副学長／東京大学東洋文化研究所教授
赤松 明彦	京都大学白眉センター長／京都大学名誉教授
岸本 美緒	元お茶の水女子大学教授
小長谷 有紀	国立民族学博物館教授
坪井 善明	早稲田大学政治経済学術院教授
中見 立夫	東京外国語大学名誉教授

(平成30年4月1日現在)



1 対象者決定 2 自然科学部門 3 人文科学部門 4 学術委員 5 財団について

5

三島海雲記念財団について



■ 設立の趣旨

三島海雲記念財団は、カルピス社創業者三島海雲が、「私が今日あるのは、先輩、友人知己、さらには国民の皆様の支援によるのであるから、私はこれに報いなければならない。」「私欲を忘れ公益に資す。」との信念から、事業の成功で得た私財すべてを注ぎ、社会貢献のため昭和 37 年 12 月 24 日に設立されました。

また、「日本という国が将来にわたり立派な国になっていくためには、学術の競争、知力の競争の世の中において、ますます優れた研究者の育成が重要になる。」との考えから、創業とも縁の深い自然科学と人文科学の学術支援を設立時より一貫して実施しています。

■ 事業目的

自然科学、人文科学に関する教育、研究を援助奨励し、学術、文化の向上による人々の生活の充実に寄与することを目指す。

■ 事業内容

三島海雲学術賞(褒賞)

- ・創造性に富み、優れた研究能力を有する若手研究者を顕彰し、その研究の発展を支援します。
- ・褒賞金額 一件あたり 200 万円、毎年 3 件程度
- ・平成 24 年より開始

学術研究奨励金(助成)

- ・自然科学、人文科学の学術研究の進歩・発展に貢献する独創的な研究を支援します。
- ・助成金額 個人研究：一件あたり 100 万円、毎年 50 件程度
共同研究：一件あたり 200 万円～500 万円、毎年 3～5 件程度
- ・昭和 38 年より開始

学術活動支援(助成)

- ・大学、研究機関、学会などが主催する学術活動を支援します。
- ・助成金額 総額 200 万円、年間 4 件程度
- ・平成 25 年より開始

参考

平成 30 年度「三島海雲学術賞」について

「三島海雲学術賞」は、自然科学部門と人文科学部門で、顕著な業績をあげた若手研究者を顕彰するもので、財団設立 50 周年(平成 24 年)を機に創設されました。

先に決定した受賞者は次のとおりです。受賞者には賞状と副賞として 200 万円が贈呈されます。(総額 600 万円)

【自然科学部門】

	受賞テーマ	受賞者	所属	役職
1	脂溶性栄養素の腸管吸収機構に関する研究	たかだ たつべい 高田 龍平	東京大学医学部附属病院 薬剤部	講師
2	食の安定供給に対する化学的視点からの取り組み	ほぎはら しんや 萩原 伸也	名古屋大学大学院 理学研究科	准教授

【人文科学部門】

	受賞テーマ	受賞者	所属	役職
1	北宋絵画史の成立	つかもと まるみつ 塚本 磨充	東京大学東洋文化研究所 東アジア第二研究部門	准教授

(所属、役職は申請時)

以上